

平成29年

県の施策に関する県民意識調査結果報告書

【目次】

調査の概要・調査結果の概要	1
居住地(広域振興圏)別・男女別・年代別集計結果	17
調査項目一覧	18
統計表	161
調査票	185

平成29年5月

岩手県政策地域部

はじめに～本書をお読み頂くにあたって～

1 県民意識調査について

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定し、東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるとともに、これと軌を一にしながら、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を描いた「いわて県民計画」に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けて、計画を推進しています。

県では、「いわて県民計画」の政策に関連する項目について、県民の皆様がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を定期的に把握するため、平成12年度から「県民意識調査」を実施しており、今回(平成29年調査)が15回目の調査となります。

2 今回の調査の特徴

今回の調査では、「いわて県民計画」の7つの政策に関連する項目の満足度、重要度等の把握を目的とし、その調査項目数は、99項目となっています。

3 調査対象数の配分方法

本調査の調査対象者の抽出については、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、次のような方法によって行いました。

- ・ 広域振興圏における調査結果に一定の精度を確保するため、東日本大震災津波の影響や管内人口の多寡を考慮し、全県の調査数5,000について、県央及び県南に300、沿岸に800、県北に600の計2,000を定数配分として割り振り、残り3,000を4広域振興圏の管内人口比で比例配分しています。
- ・ 市町村別の調査対象数については、各広域振興圏に割り振られた調査対象数を、管内の市町村人口によって比例配分しています。

このように、調査対象(サンプル)は実際の地域別の人口構成比のとおりには割り振られていないことから、集計については、実際の市町村別の人口構成比を反映した結果となる集計方法を取っています。詳しくは、「4 集計方法」を参照してください。

4 集計方法

前述の「3 調査対象数の配分方法」のとおり、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、調査対象数を地域別の人口構成比で割り振っていないことから、単純に集計された県全体等の調査結果は、本県の広域振興圏の人口構成比を反映していないものになります。

そのため、集計については、実際の回答数に広域振興圏(市町村)別の人口構成比を考慮することによって、県全体の調査結果を実勢に近づける集計(母集団拡大集計)を行っています。

これを具体的に説明すると、市町村別の回答数(選択肢ごと)に、「平成28年岩手県人口移動報告年報」による市町村別18歳以上人口÷市町村別の標本数(有効回答数)で求められるウェイトを乗じて集計するものです。(したがって、集計結果の分母は18歳以上人口に一致します。)

5 その他

- ・ 今回の調査より調査対象年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げになっています。
- ・ 各設問集計結果のグラフには、「わからない」「不明」の比率数値は表示していません。
- ・ 四捨五入の関係で合計と内訳の計とが一致しない場合があります。
- ・ 広域振興圏別、男女別、年齢別の集計結果は、属性不明を除いたものとなっています。